

裏磐梯ビジターセンター第 11 回学生研究発表会

薄井創太

2016年3月16日に「裏磐梯ビジターセンター第11回学生研究発表会」(裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会主催)がビジターセンターで行われました。この発表会は、地域の人に裏磐梯で活動している学生の研究成果を還元するために毎年行われています。今年は、磐梯朝日遷移プロジェクトに参加している兼子研、川崎研、黒沢研、柴崎研から7件の学生発表がありました。また福島大学の他、岩手大学、東北芸術工科大学、東北大学、文教大学、立教大学、山形大学の学生による発表が5件ありました。

兼子研からは佐藤浩一さん「チビコケカニムシのDNA解析 ～裏磐梯のチビコケカニムシは1種類だけじゃないかもしれない～」が口頭発表をしました。川崎研からは木下佑樹さん「五色沼自然探勝路の来訪者に関する詳細調査の結果報告」、佐藤玲菜さん「裏磐梯来訪者アンケート調査の結果報告」の2名が口頭発表をしました。黒沢研からは首藤光太郎さん「銅沼に初めて定着した水生維管束植物と風景写真を用いた分布範囲の拡大」、山口昌子さん「くるみの森の植物相調査」の2名がポスター発表をしました。柴崎研からは金子翔平さん「裏磐梯毘沙門沼における水質プロファイルと水質測定による地下水湧出地点の推定」がポスター発表、一條諒さん「裏磐梯地域の地下水流動 ～地下水と地表水の交流関係～」が口頭発表をしました。発表会には地域の住民など50名ほどの参加者があり、活発な質疑応答が行われ、懇親会では地元の方々と親睦を深めました。

開会準備から運営など裏磐梯ビジターセンターのスタッフの方々には大変お世話になりました。この場を借りて感謝申し上げます。



ポスター発表



口頭発表 (佐藤浩一さん)



質疑応答



懇親会